

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮別所小】

学力向上
アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策	
重点的に育成する 資質・能力	(1)複数の情報を関連付けて読み解き、自分の考えを根拠とともに説明することができる資質や能力 (2)学習のゴールを意識し、到達度を自己評価できる資質や能力	
↓		
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)教科横断的に単元を構成し、図や表、数値など複数の情報を比較したり、関連付けたりする活動を日常的に取り入れていく。 また、発表の場面では、児童が自分の考えを説明する際に、理由や根拠を明確に示し、筋道を立てて言語化することを重視する。 【単元ごと】 (2)「学びのシンキングサイクル」を活用し、見通しをもつことができる授業を展開する。振り返りには、学びメーターを活用し、 「本時の授業に対して自分は何ができるようになったのか」「次時への疑問」等、観点を示す。【単元ごと】	

⑤

年度末評価

学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等

↓

今年度の成果と 次年度の課題	①目標の達成状況 ②向上策の妥当性 結果提供(2月)
-------------------	----------------------------------

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②

全国学力・学習状況調査結果の分析

特徴的な結果	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業 結果提供(7月)

④

さいたま市学習状況調査結果の分析

特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月) <小1～中3>・(11～12月)
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業 学力向上支援研修

③

中間評価

学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③児童生徒の実態把握 夏期職員研修等

↓

学力向上策の 見直し	中間評価(9月) 課題・策の見直し
---------------	----------------------

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

ざらざら(楕円)

教育研究所